



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月29日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryo-pan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,552	△3.3	115	△57.6	105	△59.0	23	△91.5
24年3月期第2四半期	8,844	4.5	273	162.8	257	201.7	277	416.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年3月期第2四半期	1.13		—					
24年3月期第2四半期	13.25		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,530	3,201	25.6
24年3月期	12,466	3,154	25.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,201百万円 24年3月期 3,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	△0.8	260	△30.1	210	△38.8	110	△66.4	5.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	21,039,480株	24年3月期	21,039,480株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	73,191株	24年3月期	72,420株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	20,966,289株	24年3月期2Q	20,968,308株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) セグメント情報等	P. 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 補足情報	P. 7
販売実績	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要により緩やかながら持ち直しの動きが続いておりましたが、海外経済の減速や円高の長期化に加え電力供給の制約による影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の生活防衛意識や節約志向は依然として強く、また企業間における販売競争の激化により販売価格の低下が続くなど厳しい市場環境が継続しております。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、お客様にとって価値の高い製品を提供するため、市場動向やお客様のニーズを捉えた積極的な新製品開発の推進と、ドラッグストアやディスカウントストアなどの多様化するお得意先の業態に対する市場開拓の取り組みを強化してまいりました。製品面では、食パン「絹艶」および「みんなの食パンANN(アン)」、菓子パン「北の国のベーカリー」シリーズなど基幹製品の販売数量の確保に努めるとともに、食事パン「絹艶ロール」、菓子パン「ゴールドミルクフランス」などの育成に注力してまいりました。しかしながら、前期において東日本大震災後一時的に増加した東北地方への製品供給が平常に戻ったことや、お客様の根強い節約志向が続く市場環境のなかで販売競争が一段と激化したことに加えて、北海道内の7月から9月にかけての記録的な猛暑による影響もあり売上高が伸び悩みました。また、ロスの削減などによる生産性の改善を進めてまいりましたが、利益面において売上高の減少の影響を補うには至らず、厳しい収益状況となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高8,552百万円(対前年同期比96.7%)、営業利益115百万円(対前年同期比42.4%)、経常利益105百万円(対前年同期比41.0%)となり、四半期純利益は特別損失として投資有価証券評価損48百万円を計上したことにより23百万円(対前年同期比8.5%)と大幅な減益となりました。

なお、第1四半期会計期間より会計方針の変更を行っており、遡及適用後の前第2四半期累計期間との比較を行っております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における資産合計は12,530百万円で前事業年度末に対し64百万円増加いたしました。流動資産は4,364百万円で主に現金及び預金が432百万円増加し、売掛金が264百万円減少した結果、前事業年度末に対し125百万円増加いたしました。固定資産は8,165百万円で前事業年度末に対し61百万円の減少となりました。負債合計は9,329百万円で主に支払手形及び買掛金が224百万円減少し、長期借入金(1年内返済予定を含む)が182百万円増加したことなどにより、前事業年度末に対し17百万円増加いたしました。純資産合計は3,201百万円で利益剰余金が23百万円、その他有価証券評価差額金が23百万円増加したことにより前事業年度末に対し47百万円増加いたしました。

この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は25.6%、1株当たりの純資産は152円71銭となりました。

なお、第1四半期会計期間より会計方針の変更を行っており、遡及適用後の前事業年度末との比較を行っております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、海外景気の下振れ、電力供給の制約やデフレの影響などの景気押し下げ要因により、引き続き厳しい状況で推移すると思われれます。

当業界におきましても、消費者の根強い節約志向は継続するものと思われ、製品の低価格化はさらに進行し、企業間における販売競争は一層激しさを増すことが予想されます。また、穀物相場の高騰や原油価格上昇の影響による原材料価格や燃料費の上昇が懸念され、当面厳しい収益環境が続くものと予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、10月1日から2ヶ月間に亘る「秋の『おいしく、北海道らしく。』キャンペーン」を活用して基幹製品の育成に取り組み、品質の安定向上と安全・安心で価値の高い製品の提供により売上確保と販路拡大に努めるとともに、一層の生産性向上をはかり収益改善に取り組んでまいり所存でございます。

なお、平成25年3月期通期に関する業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの業績の動向等を勘案し、平成24年5月11日に公表した内容を平成24年10月24日に修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(製品仕分費用等の会計処理の変更)

製品出荷に関わる製品仕分費用等につきましては、従来、売上原価に含めて計上しておりましたが、より生産活動の実態に即した費用管理と適正な製品原価計算を行うため、第1四半期会計期間より販売費及び一般管理費に含める処理に変更いたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。なお、前事業年度の期首製品たな卸高に与える影響額が1,880千円と軽微であるため、前事業年度の期首及び期末製品たな卸高に対する遡及適用は行っておりません。これにより、前事業年度の期首に反映されるべき累積的影響額はないため、前事業年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書は、売上原価が322,273千円減少し、売上総利益、販売費及び一般管理費がそれぞれ同額増加しておりますが、前事業年度の貸借対照表、1株当たり情報に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,583,689	2,016,446
受取手形及び売掛金	2,165,247	1,900,266
商品及び製品	40,127	39,855
仕掛品	30,978	31,075
原材料及び貯蔵品	152,708	138,684
繰延税金資産	176,923	164,856
その他	91,917	75,537
貸倒引当金	△2,441	△1,949
流動資産合計	4,239,151	4,364,772
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,420,324	1,417,618
機械及び装置(純額)	1,363,187	1,330,234
土地	4,672,216	4,672,216
その他(純額)	185,457	185,758
有形固定資産合計	7,641,186	7,605,827
無形固定資産		
その他	87,190	88,071
無形固定資産合計	87,190	88,071
投資その他の資産		
投資有価証券	328,005	308,312
投資不動産(純額)	102,867	102,293
繰延税金資産	14,030	9,555
その他	61,282	59,469
貸倒引当金	△7,362	△7,541
投資その他の資産合計	498,823	472,089
固定資産合計	8,227,200	8,165,988
資産合計	12,466,351	12,530,760

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,247,899	2,023,005
短期借入金	1,450,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	617,800	622,600
未払法人税等	23,781	25,427
賞与引当金	193,891	190,146
その他	873,018	929,626
流動負債合計	5,406,390	5,240,804
固定負債		
長期借入金	1,020,900	1,198,700
再評価に係る繰延税金負債	1,385,254	1,385,254
退職給付引当金	1,452,016	1,457,191
役員退職慰労引当金	43,210	45,950
その他	4,130	1,130
固定負債合計	3,905,510	4,088,225
負債合計	9,311,901	9,329,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	△428,856	△405,190
自己株式	△8,340	△8,419
株主資本合計	614,777	638,363
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,199	57,893
土地再評価差額金	2,505,474	2,505,474
評価・換算差額等合計	2,539,673	2,563,367
純資産合計	3,154,450	3,201,731
負債純資産合計	12,466,351	12,530,760

(2) 四半期損益計算書
第 2 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
売上高	8,844,958	8,552,918
売上原価	6,283,871	6,120,839
売上総利益	2,561,087	2,432,078
販売費及び一般管理費		
販売費	1,919,139	1,956,780
一般管理費	368,752	359,333
販売費及び一般管理費合計	2,287,891	2,316,113
営業利益	273,195	115,964
営業外収益		
受取利息	134	146
受取配当金	4,315	3,855
受取賃貸料	2,613	3,395
その他	5,558	6,764
営業外収益合計	12,622	14,162
営業外費用		
支払利息	28,605	24,751
その他	1	1
営業外費用合計	28,606	24,752
経常利益	257,211	105,373
特別利益		
固定資産売却益	191	—
特別利益合計	191	—
特別損失		
固定資産除却損	8,997	4,597
減損損失	4,110	573
投資有価証券評価損	—	48,468
特別損失合計	13,107	53,639
税引前四半期純利益	244,295	51,734
法人税、住民税及び事業税	6,890	16,001
法人税等調整額	△40,380	12,067
法人税等合計	△33,489	28,068
四半期純利益	277,784	23,666

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売実績

販売実績を事業部門等別に示すと、次のとおりであります。

事業部門等の名称	前第2四半期累計期間 (千円)	当第2四半期累計期間 (千円)	前年同期比 (%)
食パン	1,279,597	1,157,860	90.5
菓子パン	3,685,412	3,580,755	97.2
和菓子	1,685,063	1,661,685	98.6
洋菓子	504,639	544,491	107.9
調理パン・米飯類	1,470,697	1,385,783	94.2
その他	219,548	222,340	101.3
合計	8,844,958	8,552,918	96.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。